

萩市民病院と都志見病院の統合による 中核病院づくりに向けて検討を進めます

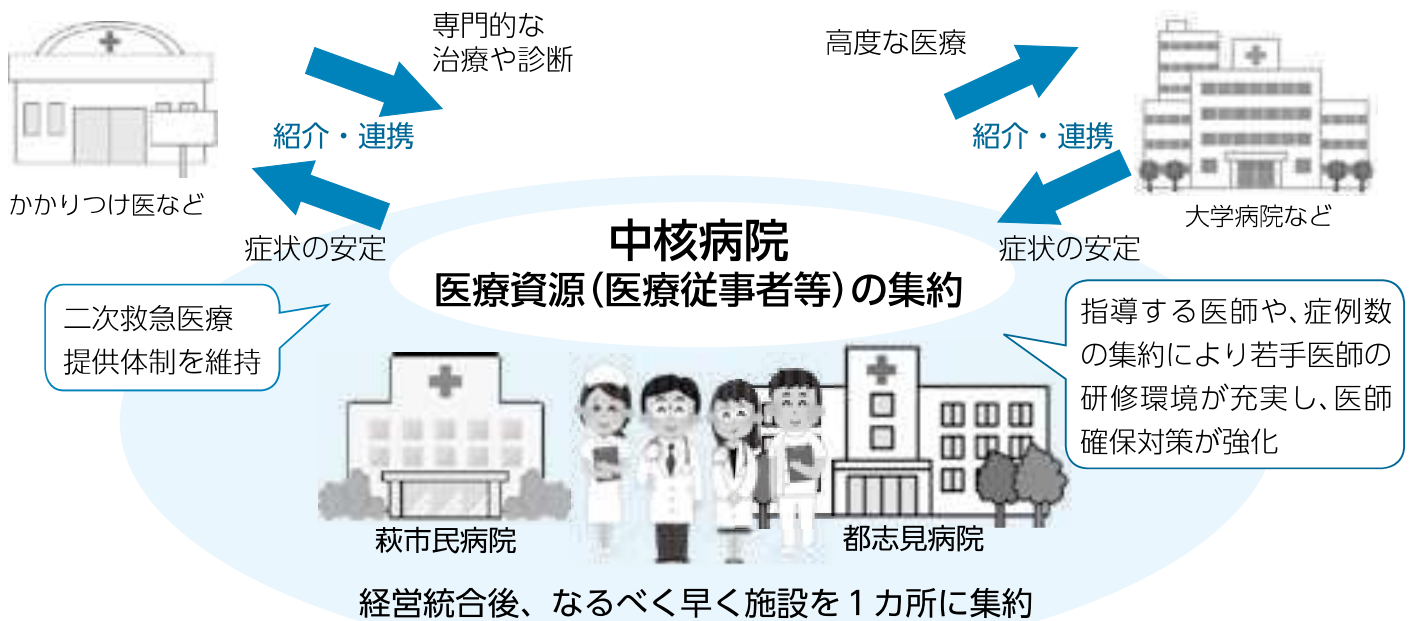
中核病院協議会からの報告を受け、市内部での検討や関係機関との調整を進めた結果、将来にわたり市民が安心して暮らせる医療を提供できるよう、市の方針として、「萩市民病院と都志見病院の統合による中核病院づくりに向けて検討を進めていく」ことを決定しました。

今後、両病院間での具体的な協議とあわせて、医師会などの関係機関と連携しながら検討を進め、中核病院づくりに向けて取り組んでいきます。

これまでの協議会資料はこちら▶



萩医療圏が目指す2病院統合による中核病院のイメージ



中核病院づくりに関するQ&A

【Q】今回の方針決定で、2病院の統合が決まったのですか？

【A】今回の方針決定は、中核病院づくりについてゼロベースで検討した結果、「2病院統合による中核病院づくりに向けて検討を進める」というものであり、「統合そのものを決定した」ものではありません。「統合の決定」に至るには、さまざまな取り決めや条件面での合意等を行う必要があります。

【Q】中核病院ができれば萩医療圏の救急医療は維持できますか？

【A】医師の高齢化をはじめ医療人材の不足が課題となっている萩医療圏において、2つの病院を統合することにより、医療人材を集約し効率的な体制を整え、中核病院を中心とした萩医療圏の救急医療体制の構築を目指します。

～市民の皆様の協力が必要です～

救急医療は、行政が中心となって医師会をはじめとした医療関係者の協力を得ながら、地域の救急医療体制を守る仕組みづくりに取り組みますが、医療を受ける側の市民の皆様のご協力も欠かせません。次のような、地域全体で萩の医療を守る取組が必要です。

<市民の皆様をお願いしたいこと>

【医療機関等の負担軽減】 ○診療時間内の受診 ○救急車の適切な利用 など

【地域ぐるみの医師確保】 ○大学等からの派遣医師を地域で温かく迎え、定住してもらう など

問 中核病院形成推進室 ☎ 21-3120